

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年11月5日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4690100690
法人名	株式会社 ぶどうの木
事業所名	グループホーム ぶどうの木
所在地	鹿児島県鹿児島市中山町5286番地 (電話) 099-821-1011
自己評価作成日	令和2年10月1日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年10月15日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者の皆様が、季節を感じて暮らせる様、季節の花々や野菜を常に植えています。元気な入居者様は水やりを一緒にされたり、野菜の収穫を楽しまれたりしています。

また、お一人お一人の生活歴、性格等を出来る限り把握し、言葉かけ、介助に活かしながら日々の生活に意欲が持てるよう支援をしています。

これまで季節ごとの行事を計画して外出の機会を取り入れてきていましたが、新型コロナウイルスの影響を考慮し、施設内での行事(レクレーション)を増やして、施設内での生活に飽きない様、生活の変化を持てるようにしています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・グループホームの理念は、仲良く助け合って暮らしていく思いを込めている。地域社会と共に福祉と介護の分野で知識と技術を活かして地域社会に貢献する事等、重要事項説明書に記載している。
- ・協力医療機関とは、医療連携体制を構築し、本人や家族の安心につながっている。
- ・町内会に加入し地域との交流を大切にし、日常の挨拶や声かけ、避難訓練の協力などが得られている。野菜の種まきや菜園作りにボランティアの協力がある。
- ・定期的に運営推進会議を開催していたが、コロナウイルス感染防止の為、事業所の運営や利用者の状況等について関係者へ郵送で報告している。往復便を使用し、郵送やFAXで意見などの返事を聞いている。
- ・食材は国産品を使用し、食事が美味しいと好評で、家族会は家族も一緒に食事を摂って入居者との絆を深めている。
- ・職員間の人間関係が良く、自己研鑽で質の高い介護サービスの提供に取り組んでいる。職員の提案や意見を介護サービスに活かしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	<p>○理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている</p>	<p>理念をホーム内に掲示し、職員が随時確認できるようにしている。</p>	<p>理念は事務所・ホールに掲示し、ミーティングの時に話し合い確認している。理念に基づいて年間の計画表を作り、重要事項説明書にも掲載し実践につなげている。</p>	
2	2	<p>○事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>町内会に加入し、防災訓練などの事業所の行事に参加していただく一方、事業所の行事案内を町内会にお願いし、地域の方も行事に参加されている。</p>	<p>町内会に加入し総会に参加し、回覧板を活用してホームの状況を知らせたり、地域の行事に参加している。事業所の敬老会や防災訓練には家族や地域の参加もある。野菜作りにボランティアの協力もある。外出時には、あいさつを交わしたり、地域の一員として交流していたが、コロナウイルス感染防止の為、しばらく自粛している。</p>	
3		<p>○事業所の力を生かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。</p>	<p>積極的に地域に開いた取り組みは行っていないが、地域の方々から相談があれば応じられる態勢を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>出席者からの意見、特に入居者の生活に関する意見、質問が多く、議事録を各職員に開示し、サービスにつなげている。</p>	<p>定期的に運営推進会議を開催していたが、コロナウイルス感染防止の為、事業所の運営や利用者の状況等について関係者へ郵送で報告している。往復便を使用し、郵送やFAXで意見などの返事を聞いている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。</p>	<p>運営上の相談事を行政の担当部署に相談しているほか、介護保険更新手続きを職員が行うなどして、協力関係を築いている。</p>	<p>市担当者の窓口に、書類を持参し、ホームの実情を伝え相談や助言を貰っている。地域包括支援センター職員や市の介護保険担当者とも連携を取っている。生活保護担当者は訪問がある。相談員の受入れも行っている。市主催の研修会等に参加し、協力関係を築いている。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>身体拘束に関する内部研修を3ヶ月おきに行い、身体拘束に関して疑問が生じたら、各職員間で話し合っている。</p>	<p>身体拘束廃止委員会がありマニュアルを基にミーティングなどで事例を出して話し合い拘束禁止の確認をしている。指針を基に3ヶ月毎に研修会を開催している。言葉の拘束も職員間で注意し合っている。昼間の玄関の施錠はせずに、外出したい時は、一緒に散歩している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	年に2、3回の頻度で虐待防止についての研修を実施し、虐待についての理解を深め、実践している。		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	現在のところ、権利擁護に関する制度を利用している入居者はいらっしゃらないが、内部研修にて各職員が制度について学んでいる。		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	契約書類は職員、ご家族で読み合わせ、その都度、不明な点がないか確認をとっている。改定の際も各ご家族にご意見がないか文書にてご意見を募っている。		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	玄関に「ご意見箱」を設置している。また、ご家族、入居者様から直接意見を頂くこともあり、申し送りノートに内容を記入することで、各職員で内容を共有している。	利用者からは、日常のお茶の時間等に声かけして思いを聞いている。「家族に逢いたい」「花を飾りたい」等の要望がある。家族からも電話で受診報告や意見を聞き、意見や要望は職員で共有し運営に反映している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月のミーティングなどで各職員、管理者で意見を交換し、運営に反映している。</p>	<p>職員の意見は、日常の関わりの中でその都度聞いたり、ミーティングで話し合っている。利用者のケアをどのようにしたらよいかや水分補給の工夫・買い物も利用者本位で行う等、意見を出し合い、運営に反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>各職員の状況に合わせて勤務体系、休日を設定し、働きやすい環境を整えている。外部研修や資格取得の機会を設け、技術や意識の向上につなげている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修の受講の機会を、各職員の技術、知識に応じて設定している。施設内での研修も毎月行っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>外部研修などで他施設と情報交換する機会を設け、サービスの質の向上に繋げている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>利用前にホームの見学をお勧めし、職員と顔合わせがてら、入居に際しての不安なこと、要望などをうかがっている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>利用前にホームのご本人とともに、見学をお勧めし、職員と顔合わせがてら、入居に際しての不安なこと、要望などをうかがっている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用前に本人、家族と面接を行い、ケアマネジャー等からも情報を頂き、必要としている支援を見極めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>入居者のできることを見極め、洗濯や調理などの手伝いをお願いし、役割を持つようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		<p>○本人と共に支え合う家族との関係</p> <p>職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>入居前の面談にてご家族の意向を尋ね、職員や施設の意向が優先されないよう心掛けている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>馴染みの方の面会を歓迎し、居室などで、ゆっくり語らう時間を作れるよう配慮している。</p>	<p>コロナウイルス感染防止の為、医療機関受診・マッサージ等へは、回数を減らしている。美容師は来所してもらっている。以前は面会にきて、居室でゆっくり対話していたが、短時間の面会や電話を活用して関係を繋げている。</p>	
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>ホールでの座席を考慮し、気の合う利用者同士で過ごせるよう配慮し、孤立しがちな利用者にも職員から積極的に声をかけている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>ホームでの生活状況をまとめ、転居先での新生活に繋がるよう支援している。相談事なども退去後も受け付けていることを入居者や家族に伝えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	アセスメントの際には本人の意向を聴き取るよう心掛け、それ以外のときに意向が聞き取れたときには記録に残すように心がけている。	日常生活の状況を細かく観察し記録した日誌などから、本人の思いや希望などを課題分析している。困難な時は表情やしぐさから判断したり、家族に聞いたりして、本人中心の支援を行っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に本人の生活歴について本人や家族に尋ねるよう心掛け、入居後も生活歴など聴き取れたときには記録に残すように心掛けている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ケアマネジャーを中心に状態把握に心掛け、申し送りを通して、各職員が把握できるよう体制を整えている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	アセスメントの際にはケアマネジャーだけで作成せず、各職員に意見を聴き取り、より具体的な介護計画ができるよう努力している。	毎日の支援日誌を基に、介護計画の案を作成し、本人・家族とも話し合い主治医の意見を入れて介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月に1回行い、見直しは6ヶ月に1回実施している。状況に変化があった時はその都度見直し、現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に記録するだけでなく、気づき等あれば、申し送りを行い、情報の共有を行っている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	気分転換や受診のための外出など、ニーズに対応して、柔軟に対応している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	町内会長や民生委員、消防署などと連携を図り、安全で豊かな暮らしを支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人、家族の希望による個々のかかりつけ医と連携をとり、定期的に往診もしくは診察を受けている。	本人・家族の希望するかかりつけ医の受診支援を行っている。かかりつけ医の受診は家族が同行している。月2回の訪問診療があり、受診後の報告を必ず家族へしている。緊急時は職員が同行し、24時間医療連携体制が整っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>日常の気づきは所定の申し送りの用紙に記入し、月2回の訪問診療の際に看護師、医師に伝えられるようにしている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時は職員が時間をみつけて病院に様子伺いに出かけ、担当の職員と話をし、情報交換に努めている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>主治医を交え、現状と今後について解説頂きながら、ご家族と話し合う機会を設けている。</p>	<p>重度化や終末期に向けた指針があり、マニュアルも作成している。早い段階から主治医と家族で話し合い、方針を職員も共有し同意を貰っている。看取りの同意書もある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の対応はマニュアル化にて職員共有事項としている。応急手当や初期対応の訓練は毎月行われる施設内研修の場を使って定期的に行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害時のマニュアルを整備した上で、年に2回、災害訓練を行っている。町内会とも防災訓練を行い、地域との協力体制を築いている。</p>	<p>災害訓練を年2回実施している。消防署立ち合いが1回、地域との自主訓練を1回行っている。消火訓練や避難経路・避難場所の確認をしている。町内会とも防災訓練の連携を取っている。備蓄は米・水・味噌・レトルト食品等を用意し、災害用器具のポータブルトイレ・コンロ・ラジオ・ヘルメット懐中電灯・レジャーシート等を準備している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入居者への言葉かけや対応はマニュアル化して職員共有事項としている。毎月行われる施設内研修の場を使って振り返りも行っている。	マニュアルがあり、毎月、研修を行って、人格を尊重しプライバシーを損ねない言葉かけや対応を行っている。ミーティングでも事例を出して話し合っている。利用者一人ひとりの性格を知り、優しい言葉かけや入浴や居室でのプライバシーが守れるように環境を整えている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々のケアの中で本人の意思を尊重し、声掛け、見守り、意思の表出へ支援している。難聴の入居者へは筆談などの工夫もしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	就寝、起床、食事等は所定の時間を設定しているが、本人の体調や希望などに配慮し、変更できるなど、個人のペースに合わせている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	衣類については介助の必要な入居者も希望を聞きながら更衣の介助を行っている。美容室やハンドセラピーの訪問も行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	各利用者の希望などに沿って、きざみ食や粥食も提供している。入居者に希望を聞いて献立を作ることもある。	利用者から食事の希望を聞き、芋ご飯や酢の物等、提供している。嗜好に配慮したり、旬の食材を使用している。行事食も提供している。誕生日は豪華な献立で、敬老会や十五夜は外部より弁当注文している。職員は見守り、会話しながら、楽しい食事になるよう支援している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	水分量、食事摂取量を全入居者とも記録し、不足のないようにしている。不足しがちなときは、本人の好みのものを提供するようにしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	歯科の助言をもらいながら、食後には各入居者の口腔ケアの介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	必要な入居者については、排泄時間を記録し、トイレで排泄できるよう支援している。	排泄記録での把握とタイミングを見て自立に向けてのトイレ誘導の声かけをしてトイレでの排泄の対応をしている。夜間にポータブルトイレ使用者もいるが、できるだけ自立に向けた支援を行っている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎日のバイタル測定時、また介助時に排便の状況を確認し、水分、食事量、薬の調整を行い、必要に応じて医師へ相談、対処している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	週2回の入浴日を設定しているが、体調を崩すなどして入浴できなかった場合は入居者の希望に沿って柔軟に対応している。	入浴は夏は週に3回、冬は2回、柔軟な支援をしている。1対1の入浴支援である。入浴剤を使用して楽しんで入浴している。入浴を嫌がる利用者にはタイミングをみて対応し無理強いしないようにしている。清潔保持や身体疲労回復、爽快感を感じてもらえるようにしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	昼夜逆転にならないよう配慮しながら、その時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援、声掛けしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	各職員が、入居者の服薬情報に目を通し、薬の目的を把握している。症状の変化があれば所定の用紙に記入し、主治医に相談するようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	一人ひとりの趣味や能力に合わせた個別レクリエーションを提供している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響で外出できないことを考慮し、施設内での行事（レクリエーション）を増やして、施設内での生活に飽きない様、生活の変化を持てるようにしている。</p>	<p>天気の良い日は周辺の散歩や庭の草花を見たりしている。年間計画での花見・ミカン狩りは新型コロナウイルス感染防止の為に外出を控えている。受診の帰りに遠回りして外観を楽しんでいる。施設内でのレクリエーションなど工夫をしている。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>事故防止の観点から、小遣いをホームにて管理しているが、入居者から買い物の依頼があれば、職員が買い物に行っている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>希望があれば施設の電話から電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用のホールからは季節の花々が楽しめるように工夫している。照明や空調は入居者に合わせて調整している。</p>	<p>共用空間は窓も多く明るく広い。廊下が広く圧迫感がない。室温・換気・採光も良い。リビングにはテーブルセットが置かれ、テレビもある。季節の飾りつけをして、ソファでゆっくり寛ぎ、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用のホールには各入居者の座席だけでなく、誰でも座れるソファなどを設置し独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるようにしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には自宅から好みの物を持ち込み、安全に配慮しながら設置できるようにしている。</p>	<p>エアコン・ベッド・タンス・洗面台が設置している。家から持ち込まれたテレビ・時計・暦・ラジオ等に、仏壇・位牌を置いている居室もあり、居心地よく過ごせるように工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホームの廊下は車椅子や歩行器でも通れる幅にし、表示することでトイレ、浴室等を分かりやすくしている。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
		○	4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11,12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない